

### 3 成績評価および単位の授与

#### (1) 成績評価

成績の評価は、担当教員が学生の前期試験または後期試験の結果を審査して行います。

- ① 成績評価は、100点法により採点され、次の段階区分による成績評価基準に基づき成績表に示されます。秀・優・良および可を合格とし、不可および時不を不合格とします。また、科目によっては「合格」「不合格」とだけ表記されます。

判定	評語	評点	評価基準
合格	秀	100～90点	目標を十分に達成し、極めて優秀な成績を収めている。
	優	89～80点	目標を十分に達成し、優れた成績を収めている。
	良	79～70点	目標を概ね達成している。
	可	69～60点	目標を最低限達成している。
	合格	—	合否のみを評価する科目における合格。
不合格	不可	59～0点	目標を達成していない。
	時不	—	授業の出席が総授業時間数の3分の2に満たない。
	不合	—	合否のみを評価する科目における不合格。

- ② 追試験の場合は原則80点満点とします。(公欠・忌引による追試験の場合を除く。) 再試験は60点満点とします。

#### ③ GPAによる評価

本学では、学修に目標を持ったり、自己評価をしやすくしたりするための仕組みとしてGPAを導入しています。GPAは、成績を数値(ポイント)化することで、奨学金の受給の判定基準のほか、一部の授業科目や実習の履修許可基準、退学勧告を含む学修指導、就職活動や海外留学などの支援に活用されます。

#### ■換算ポイントの内訳

単位修得			単位未修得		
成績	換算ポイント	成績	換算ポイント		
秀	100～90点	4.00	不可	59点以下	0.00
優	89～80点	3.00	時不		0.00
良	79～70点	2.00	不合格		計算対象外
可	69～60点	1.00			
合格		計算対象外			

#### ■計算方法

科目のポイントにその科目の単位数を掛け、取得したポイントを合計します。合計ポイントを、その学期の履修登録単位の総数で割り、小数点以下第3位を切り捨てた数字がGPAです。

- GPAは、学期ごとに、①学期GPA、②通算GPA(入学後から現在までに履修したすべての科目を対象とする)として「成績・単位修得状況表」に記載されます。

## (2) 単位の授与

一つの授業科目を履修し、3分の2以上の出席し試験等により合格した者には、その授業科目について所定の単位を与えます。

## (3) 成績の通知

成績は、【新教務システム】を活用することにより、いつでも学生本人が確認できます。また、学期ごとに、保証人に郵便で通知します。

## (4) 成績評価についての疑義

- ① 各授業科目の評価方法は、Active Portal起動から参照できる「シラバス」に示されています。
- ② 成績評価についての疑義については、各学期の成績発表期間（追・再試験申込み期間）に限り、成績評価に対して「成績評価・欠席回数異議申し立て書」により、疑義の申し立てを行う事ができます。希望する学生は教務・学生室（事務局）まで申し出てください。

なお、いかなる場合においても、追・再試験実施後の成績評価に関する疑義については受付いたしません。

# 4 学籍異動

## (1) 修業年限と最長在学期間

本学を卒業するために必要な修業年限（休学期間を除く）は、4年です。

また、最長在学年限は8年です。したがって、単位の修得ができないために在学期間が長くなっても、8年を超えて在学することはできません。最長在学年限（休学期間を除く）に達しても、卒業できない場合には「除籍」となり、本学の学生としての身分を失うこととなります。

## (2) 長期履修生制度

本学が定める修業年限にかかわらず学生が入学時又は学長が定める時期において、職業を有している等の特別な事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり長期の履修を申し出た場合は、これを認めることがあります。

長期の履修を申請する者は、教務・学生室が指示した期日までに、学長に申請しなければなりません。

長期の履修を申請した者は、通常履修登録期間に所定の手続きをしてください。

また、入学後に長期の履修を許可された者は、履修登録修正期間内に修正を行ってください。

なお、ご不明な点等がありましたら、教務・学生室へお問い合わせください。

## (3) 履修コースの変更

履修コースの変更を希望する場合は、変更を希望する年度の前年度の2月5日までに、教務・学生室に申請してください。現に所属するコース及び希望するコースの教員の指導を経た後、学長が変更の可否を決定します。

履修コースの変更の手続きについては、教務・学生室にお問い合わせください。